

21世紀をどう生きるか。 人生設計を考える

～ ついに 2000 年に突入。変革の時代をどう生きるか。

人生のこれからを考える ～

2月23日(水) 午後7時～9時

講師： **経営コンサルタント 田中勉 氏**

田中勉の半生、転職からであった新しい人生

現在は経営コンサルタントとして、企業研修、セミナー講師として活動しているが、36歳まで大企業のサラリーマンだったが、上司との意見の食違いに悩んでいる時に、オーナー会社から新規事業を展開したいからという誘いを受けて転職した。働きだしてから1週間で、「転職に失敗したなあ。傲慢になっていたなあ」と感じ、2ヶ月、3ヶ月と過ぎ、半年で見切りをつけその会社を去った。その時、37歳になっていた。今も転職は厳しいが、再就職ではもとの条件の転職などありえなかった。1年間程、失業保険をもらいながら、二十数社を受けたが、自分の希望する仕事には出会わず、住んでいる奈良の図書館を巡って勉強しながら友人と企画の会社を設立。竹下さんのふるさと再生1億円の時代でもあり、村おこしの企画にあたっていた。その側、先輩からの誘いで、企業研修講師の助手を手伝いはじめた。やがて、バブルがはじけ企画の仕事が途切れだしたころ、失業保険も切れ、アルバイトのつもりではじめた企業研修の講師の道が本職になり、今日に至っている。

人生設計を考えるが本日のテーマだが、私自身はこう生きたいと思って至ったのではなく、実は挫折、挫折、挫折で今日に至っているという。この仕事も当初は、アルバイトで始めた仕事だったので、本気ではなく、成り行き、40歳を通りぬけ、43歳くらいになって、それなりに安定してくると、『俺の人生はこれでいいのか』と思いなおして、仕事に向かい合っていると、逆に人生はこうしたいなあと見えてきた。そして、最近50歳になり、何となく2、3年先が見えてきたなあと考えられるようになり、今日は、その辺りを皆さんと一緒に考えていこうと思っている。失業している間、先行きが不安で、妻が内職をはじめ、失業保険をもらいながら、実は百万円貯めた。極意は、食べることを楽しむ事。一日千円、四人で食べるという献立を考えた。牛乳、バナナ、玉子、パンの耳にご飯と雑炊などを考えれば、一日千円で四人の食費が賄えた。息子二人が巣立ったら、二人でまたやろうと妻と話している。私達の年代は、団塊の世代で、年金1つ考えても、加入していた頃は60歳といわれたのが、今は65歳からの支給になっている。ある弁護士によると、法律が変わったから、契約違反にはならないと聞く。お上をあてにしないで、自分で食べるという意味では、失業を通していい勉強をしたなあと思っている。

今日・明日を考えて『私の人生設計書』記入してみる。

今日明日を考えるという前に「私の人生設計書」に、21世紀からの貴方の年齢を2040年まで書き込んで見てください。2010年以降は5年刻みですので注意して下さい。年齢の横に本人のこと、家族の欄には子供の卒業等を、仕事欄には定年等、趣味、目標、能力開発欄にも思いつくことを書き込んでみてください。

では、今日、明日を考えるということで、今日の日経新聞の朝刊一面をご覧頂いただけだけでも、最近の動きをみることができる。『中部電、芦浜原発を断念 知事の撤回、要請受けて 原子力推進は維持』はエネルギー問題、地球環境問題、『日本エア・リキードと大阪酵素 中額メドに合弁 工業ガスで国内2位に』『豊田通商、筆頭株主へ トーメンの増資引き受け』『生保破綻に承継会社 大蔵省方針 受け皿へ円滑譲渡』は会社の倒産、合併の動き、『新たな権力闘争 NGO 台頭 政府と摩擦』NGOの動き、『iモード、携帯搭載 ドコモ 今夏から 強気の加入目標 年内に1000万人』はIT革命の一端等、一面の見出しだけひろっても世相が見えてくる。

今年2000年を考えると、3つの逆転がテーマになると思う。①NTTドコモでは500万台突破したIモード等の携帯電話が5000万台を突破する勢いで加入電話を逆転。②パソコンのインターネット接続が、昨年3月時点で1476万だったので、今年はずでに2000万台を突破しているだろう。テレビよりもパソコンの出荷量が多くなり逆転。③おしゃべりで通話するよりも、インターネット等のEメールによるデータ通信の成長し逆転。2000年はIT革命が急成長しはじめるターニングポイント、転換点に差しかかっている。又企業においても、ビルド&スクラップの傾向が強い。以前はスクラップ&ビルド形式で、壊してから建て直すという考え方だったが、余裕のある会社の経営企画室とか情報通信の担当者と話していると、時代の流れが速いので、スクラップ&ビルドでは間に合わず、ビルド&スクラップで対応するしかないという。つまり、会社の外に新しい仕組みを作り、古い組織はそのままに、新しい仕組みをいつ出発させるか水面下でかなり準備が整っている。それを随時出発させるのが、今年から来年あたりに集中するだろう。それを準備している会社と、旧態然としている会社とでは今年あたりから生き残りという面で大きな格差に繋がって行くだろう。

では、来年2001年からどうなるかという、4月辺りに政府が先送りした課題、ペイオフ、省庁の統廃合、国際会計制度等を集中させた。そして、2005年には、情報のインフラが完了し、ビルゲイツのマイクロソフトや孫さんのソフトバンクがハード面で確立し、それからは、情報インフラをどう使うかということで新しい動きがあるだろう。

更に 2010 年の私達の生活を考えると、つまり団塊の世代が 60 歳代に差しかかる。私は生野中学在学中、一学年 27 組で、1 組 50 数名、つまり一学年で約 1400 名が在籍し、3 学年を合計すると、中学校だけで 4000 名いた。小学校では収容する校舎がないので、昼から登校するなど、二部制で校舎が整うまで交代で授業を受けていた。団塊の世代び目の前で法律が変わっているのに、65 歳から年金がもらえるかどうか今までの経験でかなり不安要素がある。65 歳からもらえても当初の半額などになるのではないかと覚悟している。今はまだ支払えるので年金受給者の金額を半額にするなどということは政治家も支持票のこともあるので、言い出せないが、団塊の世代への年金の受給ができなくなり、大胆な政治家が現れて年金を先送り、減額等を決断するかもしれない。本当の所は、その時にならないと解らないが、2010 年に 60 歳を迎える私自身にとっては厳しいなあと考えている。どうなるか解らないが、人生設計を組む上で時代の大まかな流れはつかみ、その時の自分の年齢を視野に入れておくと、自分は会社にいるのか、どんな生活をしているだろうというイメージが大体掴める。

21 世紀の生き方の四つの秘訣

では、大きな変革期で時代の流れの速い 21 世紀の処世術といえる四つの秘訣がある。

①**高速社会の生き方**としてはブレーキを自分で踏む必要がある。本田技研の創始者本田総一郎さんが、「ブレーキのない自動車は乗れない」と言ったが、エンジンを作ると同時にブレーキも作らないといけない。ハイスピードで暴走すればするほど、ストレスが加速し、自殺が増える。自分でブレーキを踏み、ハイスピードであればあるほど、自分でコントロールをし、必要なときにブレーキをかけて、衝突し自滅しない為の注意が必要。自分の人生は自分が造り、世の中に流されているだけでは危険。時代の流れに押し流されながら、自分でどのようなブレーキを作るかを、いつも自分で意識してストレスをコントロールし、それぞれの価値観をもって生きるという姿勢が必要。

②**コンビニ社会の生き方**、つまり、なんでも便利な社会になった。冗談でダイエーさんが悪いというのだが、正月の一日から店を開け年中無休。自己の売上を伸ばしたが、アメ横などの一般小売店の年末の売上を下げた。苺はいつでも食べられるなど、季節感がなくなり、生活のリズムがなくなり、のんびり生きていくことにならされてきた。コンビニが自分の冷蔵庫代わりになり、自分で「筍」をつくるように心がけることも大切。

③**欲望社会の生き方**。お金や物が豊かになり、千円で四

人が食べられるのが日本だが、世界では飢餓で苦しんでいる人もいるので、いやいやながらではなく、地球環境問題にも繋がるが、積極的な我慢をし、余分な物は買わない生き方も大切。

④**バーチャル社会の生き方**。過激なゲームやビデオに没頭し、現実社会との境目を見失い事件を起こす若者がたくさん現れているように、何でもできる、何をやってもいいという感覚を仮想の世界だけで通じるものであると自分でコントロールする必要があるだろう。そして、人間であることの認識を持つ必要がある。

つまり 21 世紀の社会では、時代の流れに押し流されるのではなく、自分の考え方、価値観をしっかりとって生きるように心がけることが必要。人生設計を考えるときに、社会の流れを十分に視野に入れながらも、自分はどいう生きるのかということを確認にして限られた人生の時間と向き合うことが必要になるだろう。

私の人生設計書の「私の人生コンセプト」欄に無理やり記入しろとか、なければ駄目だともいわないが、私の価値観、人生観、社会観、職業観、家族観を一言で言うならどう書くかを一度記入してこれからどう生きるかという考えまとめてほしい。

企業研修などを通して、色んな企業の社員の方にこの設計書を記入いただいているが、5 年位まえからリストラが進み、企業がどうなる、所属している部署がどうなるのか、自分がどうなるかという不安で、簡単に人生コンセプトを記入できない人が多くなってきている。書きなおしてもいいから、考えを言葉に書き出して、見詰めなおす事が必要だと思う。

私の人生コンセプトを参考までに紹介すると、「価値観＝生涯現役」これは、年金の話と関連するが、自宅を 3 年前に立替て 75 歳までローンがあり支払いつづけてはならない為働きつづけてはならないという事情もあるが、生きがいとしても仕事を続けたいと思う。

「一生感動、一生勉強」感動を失うと人間終わりだと思う。「人間勇気」で「やるかやらないか」だ。「人生観は、優しさと厳しさ。人に優しく、自分に優しくありたい」経営も同じで、お客さんに優しく、社員に厳しい会社に利益が上がる。「社会観は、自立」「企業観は、アナログとデジタルが人間安定のハーモニー」「仕事観は、ビジネスは、制限時間付きの信頼獲得ゲーム」とは、相手の人、つまり上司、部下、お客様から信頼を頂けるかどうかを、制限期間内にどれだけいただけるかという信頼獲得ゲームだと思っている。仕事は所詮ゲームだと思い、楽しくやりたいなあという意味で遊びという意味ではない。「家庭観は安らぎと愛」コンセプトが見えてくると、こういうことをしたいという趣味の欄を記入でき、仕事では定年とかが見えてくるので、全体の設計図が出来上がってくる。設計図が出来ると、具体的に動きたいと考えるが、昨今の世情だから、リストラに合ったとか

で、急に企業を興したいと考えても資金の工面も仕事のネタもないのでは実行不可能。

又社会労務士になりたいと言っても、直ぐに資格は取れないので数年計画で取り組む必要がある。私の資産の欄に過去取得した資格、他社で通用する能力を持っているかを記入してみて、リストラに対応できるかどうか自分を見直すことができる。

人材派遣会社で、「あなたは何かできるのか」という問いに「管理職が出来る」と答えた人がいたが、これはナンセンスだ。私自身の体験からいうと、先ほども言ったように36歳で転職して人事課長になったが、経理部などのテクニカルな部署ではなく、社内での根回しが必要で、会社で積み上げて行く信用が必要で、自分の力不足がよくわかった。私の資産欄とむきあって、あなた自身の棚卸をしてみたい。何ができるのか、やりたいのかをまとめてみて下さい。

今最も有望な人材が家庭の主婦で、趣味の教室などに通い、フラワーアレンジメントなどに長年打ち込んでいる人が多い。今は趣味の範囲だが、プロモーターが付けば、ビジネス展開も夢ではないはず。研修などで50歳後半の男性に趣味を持っているかと聞くと、特に打ち込んでいるような趣味をもっていないと答える人が大半。しかし、奥さんが何か趣味を持っているかと聞くとたいいてい持っていると答える。では、定年後は奥さんのマネージャーになり、ビジネスに繋がるように夫婦で考えたらと答える。自分の資産で、趣味や特技について、家族を含めてビジネスになる糸口がないかを考えて見るのも一案。

1248の趣味が人生を豊かにする。1人の趣味では、パソコン、読書、釣り等、2人で取り組む趣味は格闘技関係で、将棋、囲碁、卓球、テニスのシングル。4人は、ゴルフ、マージャン、テニスのダブルス。8人は、ソフトボールなどのチーム対抗、旅は1人でも、2人でも、4人でも、8人でも行ける趣味。一人遊びだけしかできない人は、定年後対人関係がなくなるし、一人遊びができない人は、奥さんにさきだされると、ボケやすい。

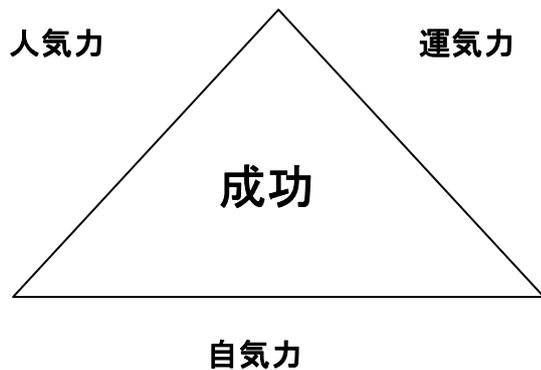
1248の趣味を持って、定年後もバランスのある人間関係を持つことも人生を楽しむコツでもある。

私の人生設計についていえば、社員研修の講師をメインに務めてきたが、1対30等複数の受講者と相互に対応していくので、一泊二日などで社員研修では、かなり神経をすり減らし、相当な気力と体力が必要。先輩方を見てきて、50歳以上はかなり難しいということが解ってきた。そこで、短時間で、一方的に講義をし、一日に2～3回もこなす事が出来るセミナーや講演会に移行しつつある。今は社内研修が二分の一、セミナー四分の一、講演が四分の一の割合だが、55歳になると研修の四分の一くらいにして、セミナー、講演会を増やし、その頃になったら執筆をはじめ、作家デビューをしようと考えている。

55歳を目処に作家デビューをしようと考えているので、42歳くらいから、シールを毎月作り始め、今88作で約8年間に渡り作り続け、書く力、考える力を強くしようとしている。48作目で、4年前に小冊子にまとめ「ひとりごと」を発行し、ロコミだけの通信販売で12000冊売れた。1冊350円で3冊で千円で販売すると、1冊は自分用に、他の2冊は他の人にプレゼントして、輪を広げてもらった。今日2冊目が家に納品された。1冊目を保険代理店等のお客様用プレゼントとして活用いただき、2冊目が出るとセットで販売しようとしている。また独り言シールも1枚20円で5枚綴りで100円で販売している。手書きの官製葉書をシール付きで一枚80円で販売し、購入者が書き損じても郵便局に持って行けば1枚5円で引きとって貰えるし、手書きなので印刷代がかからない。自分が書くことと偉そうなことを書いてとなるが、「勉」という人が書いたものとなれば、人の言葉ということで出しやすいし、話題にもなる。何百枚単位で購入いただく方もあり、たった1枚のシールを展開し、どうビジネスに変えていくかを模索中。

4年に一度なので、3冊目がでて、まとまれば出版社から出版できるだろうと考えており、既に出版社3社からお話を頂いている。急に売れば急に売れなくなるだろうし、これからはインターネット販売の時代なので、今検討している最中。趣味や自分が長年やってきたことをどうビジネス化していくのかがをを考えてみるのも意外な展開があると思う。材料さえがあればチャンスがあれば、飛びたてるだろうと考えている。書くということでは、パナホームの社内報に「セールスひとりごと」で昨年2ヶ月に1度で年間契約させていただき、執筆活動の助走として書かせていただき、55歳になったら中西礼さんのように執筆活動に専念できるようになればと考えている。書くことをとを考えている為、習字、篆刻などを手がけている。芸術は味だと考えているので、同じ字「笑」という字を書く練習をし、60歳くらいになればそれなりの味になるだろうと考えている。篆刻で「笑」という字を捺し、年賀状に「笑い生まれました。もらってやってください」と言葉を添えたら130名の方から欲しいと言う返事をいただき、お送りした。「笑」も目標として千個ほどつくれば、それなりの味が出てくるだろうと思っているし、ビジネスにも繋がっていくだろう。篆刻は奈良の文化教室のに2時間3千円で一度だけ行って習ったもの。今この「笑」という篆刻を大を千円、中を九百円、小を八百円で売ると、塾の先生がよくできましたの判子として使っていただいている。趣味を楽しみながら、人生を楽しみ、仕事にも繋がっている。言葉の勉強の為に、最近俳句教室にもいき、句会に出て、二度目に青海という名をいただき、「ひとりごと」を8年書きつづけているお蔭で、書くこと、物事をみつめる感覚を磨いていたのだと気がついた。

成功の秘訣



自気力 (自分の気力)

① 勇気 (やるか、やらないか)

セールスマンにお会い頂いた方に、「お礼の手紙を書きましょう」というとそれはいいことだと言いながら、書きつづける人は百人に一人、それができる人がトップセールスマンになっていく。小さいことでも、やるかやらないか、一歩踏み出す勇気が人生を変える。

② 本気 (志・信念・哲学・夢)

手紙を出すことはいいことは、一度、二度は出す人は多いが、本気がなければ続かない。御礼の手紙を出すことは、一期一合、相手の人生の貴重な時間を頂戴したという本気があるから、書き続けられる。

③ 根気 (計画)

やりますというだけで、計画がなければ実現不可能。

運氣力 (運をつかみやすくするための秘訣)

① 天気 (自然の変化を見る感性を持っているか)

飲食業、ファッション関係など、天気の影響を掴む。

② 景気 (世の中の動きを理性で眺めているか)

新聞・テレビや周囲を見渡し分析していく。

③ 空気 (まわりの空気を感じて動いているか)

④ 時気 (期) (タイミングを掴めるか)

人気力 (人の気を集める)

自分の力や運だけでは成功できないので、人様の気力をいただけるかどうか。

① **意気投合** (意気の合う人とどれだけ集められるか) 意気統合するには、自気力がどれだけあるか、本気なのか、何がしたいのかを明確にし、そこに集う人々への感謝の気持ちを大切にします。

② **動気(機)** 目的に沿って人様に協力してもらえるか。その為には相手に感謝し、ギブアンドギブで相手に尽す。

③ **熱気** 人様のエネルギーを集中させる。

成功の秘訣は、自気力を高め、運氣力を充実させて運を掴み、人気力を獲得に成功につなげる。ソフトバンクの孫さんも、最近出てきたという感じがあるが、20年前から自気力を高めコツコツと積み上げ、時流の流れを掴む努力をし、それが多くの人に指示されて今ビジネスで成功を収めている。私自身企画会社を始めた20年前から、孫さんの名前は知っていた。成功する人は、天から舞い降りてくる羽衣を待っているのではなく、一度しかない人生をどう生きるかという強烈な自気力を持って努力しつづけ、成功をもぎ取った人たちである。

能力開発の3系統

① 情報・知識系の能力開発

商品知識や、資格試験など短期間で覚えれば高い成長を得ることができる。計画を立てて早く取得。

② 技術・芸術系の能力開発

パソコンを覚えるように、時間をかければ徐々に、成長し、マスターできる感覚的な能力の開発。

③ 性格・態度系の変容

人間の品格は、その人の積み重ねてきた人生からにじみ出てくるもの。どんな人間になりたいかを自分で定めて努力すれば、時間はかかるが、あの人変わったねえと言われる時期が来る。

まとめ: 自分の人生は自分造ると言う思いを大切に、時代の流れを意識しつつも、自分のペースを保ち、自分がこうありたいという自分へ近づくべく、時々自分の人生設計図と向かい合い、21世紀のあなたらしい人生を開拓されることを切望し、今回の私の話がいくらか参考になれば誠に幸いなことである。

成功の法則

「自気力」を高め 「運氣力」を掴み
「人気力」で閾値を越える
成功は三つの気力の組み合わせ

個性

誰にでもできるあたりまえのことを
誰にもできないくらいやり続ける
続けると本物になり、やがて個性になる
そして、光り輝く人生がある

年輪

0才からは、親と世間に育てられ、
20才からは、自分を自分で磨き、
40才からは、自己実現の舞台に立って
60才からは、世のため、人のために何をする
自分の年齢、自分で刻む

『ひとりごと』通信販売 第一集・第二集。

(1冊=350円・3冊=1000円)

お申し込み FAX 0743-54-6250まで

【田中勉

ひとりごとより】



参加者 (ア行順・敬称略)

塾生：青木玉美・阿久根昌夫・石田恒章・江郷富雄・
田村周治・辻本信子・西谷保美・原季美子・原田彰子・
平野康子・森川千世子・【受付：青木玉美・辻本信子】